

1万人超の来館で盛況

田川市美術館 ロバート・キャパ展

11月29日～1月26日の期間で、田川市美術館で「ロバート・キャパ展 -THE FACE-」が開かれました。

ロバート・キャパは、第二次世界大戦など5つの戦争をカメラに収めてきた戦争写真家。戦地の生々しい現実だけではなく、時代に翻弄された人々の生活や日常に眼差しを向けた写真家でもあります。

この企画展では、彼が捉えた人々の「顔」に注目し、激動の時代に生きた人間の姿を写した東京富士美術館のコレクション 150点を紹介しました。貴重な作品をひと目見ようと初日からたくさんの方が来館。1枚1枚じっくりと鑑賞しながら被写体の顔と向き合い、表情や目

が訴える「戦争」の記憶に触れました。

1月23日には、平成3年の開館以来3回目となる企画展での来館者数1万人到達を迎え、記念式典が催されました。1万人目の来館者は、嘉麻市から友人と一緒に訪れた浦部幸子さん。田川市美術館開館当時に監視員を務めていた縁ある人です。是澤清一館長から記念品を受け取った浦部さんは『何度も写真を見て涙が出ました。私や私の子どもも戦争を知らない世代ですが、写真を通して体験することは大切だと思います。私たちにできることは、声をあげ「戦争をしてはならない」ということを伝えることです』と語りました。



▲是澤館長(左)から記念品を受け取る浦部さん(右)



▲圧巻の写真の数々を立ち止まりながら鑑賞する来場者



▲子どもたちと会話しながら一緒に給食を食べるアネマリーさん

グーテン・アペティート！（どうぞ召し上がれ！）

猪位金学園の給食にドイツ料理が登場

2月12日、猪位金学園でドイツの家庭料理が作られ、給食として児童・生徒約250人に配られました。

これは、東京パラリンピックに出場するドイツとベラルーシの車いすフェンシングチームの合宿受け入れに向け、子どもたちに相手国の文化を知ってもらおうと市が企画した取り組みです。この日は、市国際交流員のアネマリー・グンツェルさんがドイツの文化などを紹介。給食が始まると、机には具だくさんのスープ「アイントプフ」やソーセージ、ザワークラウト（キャベツの漬物）などが並び、子どもたちはホットドッグを作って豪快に頬張りました。続いて3月2日には、市内8小学校の児童もドイツ給食を楽しみました。